

駿河総合高校部活動ガイドライン

平成 31 年 3 月

1 部活動における本校の教育目標の位置付け

教 育 目 標	適切な判断力を持ち、個性を確立すると共に、他者と協働し主体的に社会に貢献する人を育てる。
教 育 方 針	生徒の主体性と個性を尊重した教育を通し、豊かな感性、確かな知性、健やかな心身の調和のとれた生徒を育てる。
目標具現化の柱	部活動におけるより高い水準の技能や記録への挑戦と、健全な心身、豊かな人間性の育成。

2 部活動の取組内容と成果目標

区 分	目 標
活動内容と具体的な取組	○計画的で効率的な練習を行うように努める。 ○日頃の活動や大会等への参加を通して、目標に向かって努力する態度と基礎的な実践力を養う。 ○活動終了後、速やかに下校をし、家庭学習時間の確保に努める。 ○週休日の活動時間は長くとも 6 時間程度とする。 ○年間 80 日以上 of 休養日を設けるようにする。 ○活動計画の保護者への通知を徹底する。
成 果 目 標	○「2 時間以上の家庭学習時間を確保して部活動との両立をしている」と答える生徒 70% 以上。 ○「部活動に一生懸命取り組んでいる」と答える生徒 80% 以上。

※運用上の留意点

試合期等でまとまった練習等の時間が必要な場合や、週休日に練習試合を計画している場合等は柔軟な対応を可能とする。この時、月間活動計画に記載されてなく、変更を余儀なくする場合には、あらかじめ所属長の了解を得るとともに、適切に保護者や生徒等に示すこととする。

3 部活動の活動計画表等の作成及び公表

年間活動計画・月間活動計画を作成し、毎月末、生徒に配布する。